

熊本市 文化芸術推進 基本計画

ARTS and CULTURE

変動する時代の中で人づくり、まちづくりの軸になるのが「文化芸術」。熊本市では新しく「文化芸術推進基本計画」を策定し、アート(文化芸術)の力をいかした上質な生活文化都市づくりを進めていきます。

アートには、人をつなげる、 まちをつなげるチカラがある

人と人が共感し合いながら
つながることが大事



私たちの生活と、
文化芸術はつながっている

Cross Talk

熊本市長 大西一史 × 熊本市文化顧問 日比野克彦

アートが地域をひとつにする、
これはまちづくりの神髄

多様な価値観をみんなが認め合えるのが
市が目指す「上質な生活文化都市」

アートは心を柔かくする、
ポジティブにする、
熊本地震でもチカラをくれた

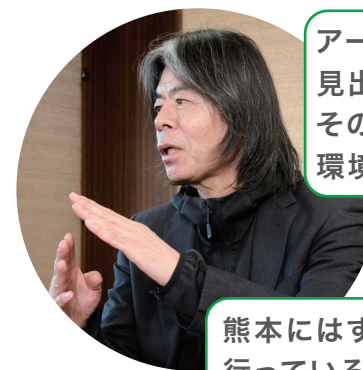
文化的処方箋は、人に勇気を与える

熊本市はあたたかいまちになる。

人間の中のチカラを 引っ張り出す、それがアート

いろんなものに価値を与える
これはアートが得意なところ

変容する、
いろんな価値が共存していることが、
豊かな彩りのある社会につながる



アートは自分の価値を
見出すことができる、
その特性を体験できるまち、
環境を作っていかなきゃ

熊本にはすでに文化的処方箋を
行っている人がたくさんいる
熊本市だからこそ出来る

※ 文化的処方箋とは、医学的な薬を処方するのではなく、アートを処方することで健康やウェルビーイングを高めようとする取組のことです。

対談の詳細内容は裏面のQRコードからご覧いただけます。

お問い合わせ先
熊本市文化市民局 文化政策課

860-8601
熊本市中央区手取本町1-1
Mail:bunkaseisaku@city.kumamoto.lg.jp
TEL:096-328-2039

熊本市術文化芸術推進基本計画の
詳しい内容はこちらからご覧いただけます。



人をつくる、まちをつくる、文化芸術。

ARTS and CULTURE

音楽を聴いたり、歌ったり、テレビや映画を観たり、絵を描いたり・・・、日常のちょっとしたことで文化芸術に触れると心が落ち着いたり元気になったりすることってありませんか？それがアートの力です。

同じテーマで絵を描いたとしても人によって描くものが異なりますが、どれにもそれぞれの良さがあり、正解はありません。一人ひとりを受け入れ、良さを引き出してくれるのがアートです。

市民の皆様が身近に文化芸術に触れ、文化芸術を介して人と人がゆるやかなつながりをつくり、一人ひとりがいきいきと、心豊かに暮らせるまちづくりを進めていきます。

心が豊かになる

● 施策Ⅰ

●文化芸術に触れる場と機会の創出

文化芸術に触れることで、人は楽しさや安らぎを感じ、創造性や感性を育むことができます。誰もが文化芸術に触れ親しむことができる環境や文化芸術活動者が活動しやすい環境をつくります。

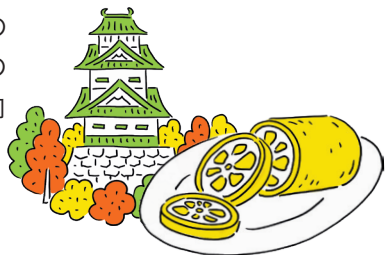


想いをつなぐ

● 施策Ⅱ

●文化芸術の継承と活用

本市の特色をいかした文化芸術は、人々の想いをのせて受け継がれてきたものです。これらを保存・継承・活用することで、シビックプライドの醸成や地域コミュニティの活性化、都市文化力の向上を図ります。



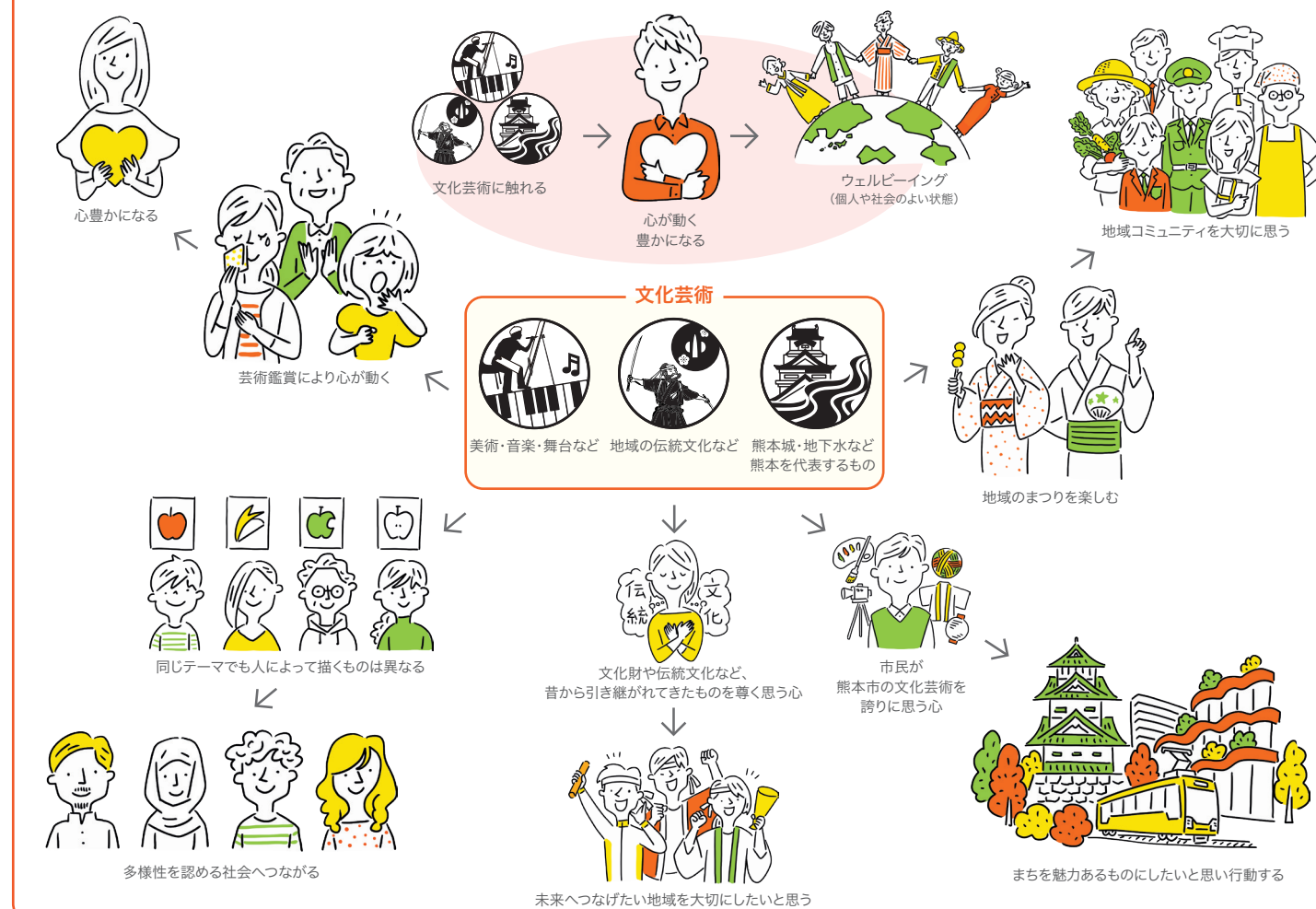
● めざす姿

●市民が身近に文化芸術に親しめるまち

● 基本理念

●文化芸術の力で市民の生活を豊かに

基本理念のイメージ図



一人ひとりがいきいきと

● 横断的な施策

●文化芸術の力による新たなアプローチを用いたまちづくり

多様化するニーズへの対応や社会課題の解決を図るため、従来通りの知識や視点、論理的な思考にとらわれず、新たな発想で柔軟に対応していく人材を育成します。

●文化芸術を支える新たな基盤づくり

文化芸術の持続的な発展のために、文化芸術の活動者と関係者や団体等をつなげ、文化芸術活動を横断的に支えるための仕組みをつくります。



未来につなげる

● 施策Ⅲ

●次代の文化芸術を担うこどもたちの育成

文化芸術は、こどもたちの情緒や創造力などの成長を促します。そのため、格差が生じないよう文化芸術に触れる機会を提供します。また、文化芸術の鑑賞者や世界を舞台にする活動者など将来の文化芸術を担うこどもたちを育成し、文化芸術活動の活性化を図ります。



自分を、他者を、熊本を好きになる

● 施策Ⅳ

●文化芸術を介したつながりの創出と 様々な価値観の尊重

文化芸術は人と人との緩やかなつながりを創出し、人を孤独から救い、生きる力を与えます。文化芸術を介してコミュニケーションをとることで、ウェルビーイングの向上や、多様な価値観を尊重する共生社会の実現を図ります。

